



第57回 高等経営学講座

The 57th Advanced Management Seminar

「新しい時代へ・・・次の社会、そして経営」

2012年7月26日(木)～8月3日(金)

[8泊9日] 帝国ホテル大阪

海外ビジネス・スクール講師



Ramon Casadesus-Masanell 教授

ハーバード大学ビジネススクール

特別講師



芝陽一郎氏

株式会社i3DESIGN 代表取締役

KeNako株式会社 代表取締役



孫泰蔵氏

MOVIDA JAPAN株式会社 代表取締役社長

第57回テーマ

「新しい時代へ・・・次の社会、そして経営」

われわれは激動の時代に生きています。

先進国は少子化と経済の停滞を迎える一方で、新興国は強い成長意欲から経済が沸騰しています。情報革命が加速し、国境の壁を超えて情報が行き交い、ピーター・ドラッカーの言葉を借りれば「もはや世界には一つの経済、市場しかない」時代を迎えつつあります。それに伴って大量のマネーがグローバルに駆け廻り軋轢を引き起こし、国々の問題を一層深刻にし、追い打ちをかけるように環境問題や自然災害のリスクも高まって…。

こんな時代からこそ企業や公的組織のトップ・マネジメントの役割が、ますます待望されているわけです。言うまでもなくその役割とは、大局観を持って次の社会への変化を見極め、戦略を組み立て組織し、指揮していくことに他なりません。

そして閉塞感漂う時代の打開に資するべく、今年も高等経営学講座を開講いたします。

当講座はわが校で最も伝統あるフラッグシップ・プログラムであり、異なる業種業界のトップ層の方々に集まっていただき、「新しい時代へ・・・次の社会、そして経営」をテーマとして企業のケースをベースに熱く議論していただく場です。

カルロス・ゴーン氏は「日本の問題はビジョンの欠如だ」と指弾します。参加者の方々には、時代を象徴する実際の経営事例に身を置いて、自らのビジョンと方法論を構想し、相互にぶつけ合い、それぞれの結論を導いていただきます。

本年度の講師には、本校講師陣とともにハーバード・ビジネススクールからRamon Casadesus-Masanell教授を、また特別ゲスト・スピーカーとしてITベンチャー起業家であり、かつベンチャー・キャピタリストでもある孫泰蔵氏、さらにアフリカ・ビジネスに取り組まれている芝陽一郎氏らをお迎えする予定です。

豊かな経験と見識の講師陣のリードのもと、ケース討議の経験は必ずや実務家の皆さまの問題意識に鋭くヒットし、明日のマネジメント設計のための血肉となると確信しています。

熱いディスカッションへの皆さまのご参加を、心より楽しみにしております。

第57回高等経営学講座主管 山根 節

慶應義塾大学ビジネス・スクール

校長 河野 宏和



第57回高等経営学講座

主管 山根 節



副主管 清水 勝彦



副主管 岡田 正大



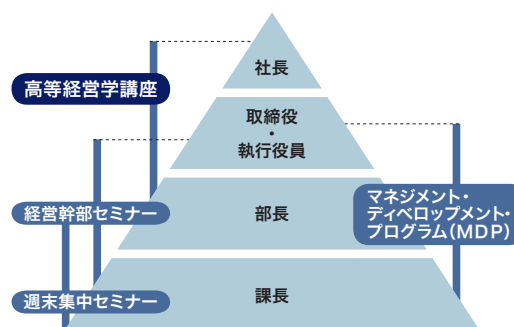
KBSの特徴

慶應義塾大学ビジネス・スクール

慶應義塾大学ビジネス・スクールは、慶應義塾大学が、わが国産業界の要望に応えるため、経営専門家の養成を目的として1962年に設立した大学院レベルのプロフェッショナル・スクールです。現在本スクールは、26名の専任教員から成る教育・研究スタッフにより、実践的な経営教育の実現に努力しています。

エグゼクティブセミナー

慶應義塾大学ビジネス・スクールは、同大学大学院経営管理研究科の教育スタッフによって構成され、福澤諭吉の「実学」の精神に則り産業界の協力のもとに、わが国における経営管理の専門家の育成訓練に努力を傾けてきました。現在本校は4種類のセミナーを主催しております。



総合的な管理能力開発 実践能力の涵養

「高等経営学講座」は、総合的な経営管理能力をもつ最高経営幹部（トップマネジメント）の育成および再訓練を目的とし、ケースメソッドによる多角的・現実的な判断力と意思決定能力の向上をねらいとしております。その源は、ハーバード大学ビジネス・スクールとの提携により1956年に開設された「慶應・ハーバード大学高等経営学講座」に遡り、以後常にわが国におけるトップ・マネジメント・セミナーの先導的役割を担ってきました。本講座は毎年夏季に開催され、ハーバード大学ビジネス・スクール等海外の諸大学から招く一線級の講師と慶應義塾大学教授陣の緊密な連携のもと、年々その内容を改善・充実しながら今日に至っています。また、過去56回に受講した方々はのべ3,889名の多きにのぼっています。



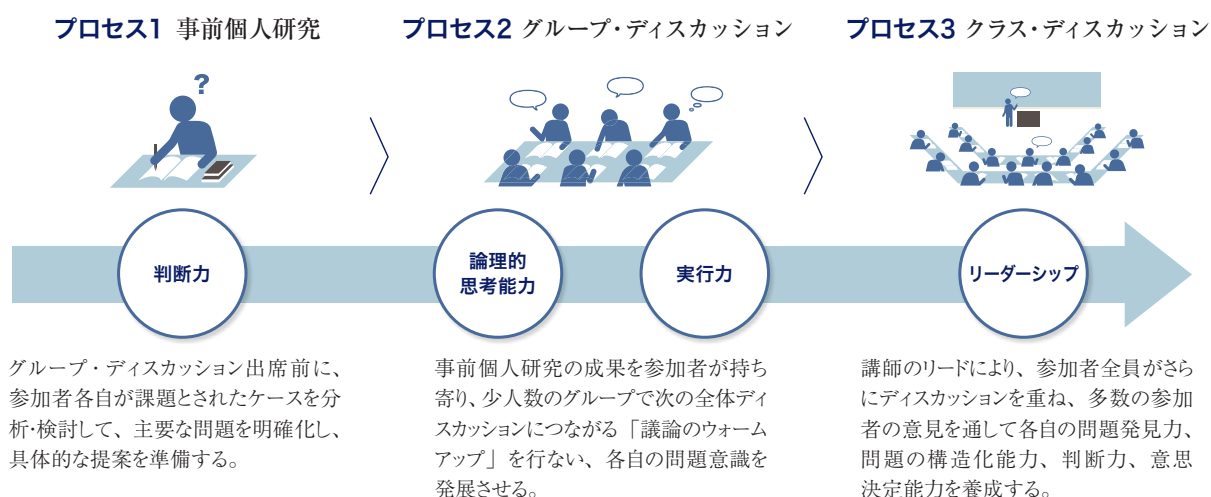
KBSだからこそ可能になる教育価値 ＝ 慶應型ケースメソッド

ケースメソッドとは

実際の経営状況をまとめたケースを素材に、ディスカッションを通して新しい知恵を共創する教育方法です。ケースメソッドは、過去 80 余年間にわたり、ハーバード大学ビジネススクールが中心となって開発し、改良してきた実践的な経営教育の方法です。日本においては、KBS が 50 年前に導入し、慶應型ケースメソッドとして独自に発展させてきました。

ケースメソッドの流れ

参加者は、まず現実の企業経営の実態をもとにして作成された教材（ケース）を受け取ります。ケースには、経営者、管理者が判断し決定すべき当面の問題に関連する周囲の状況や意見などが記述されています。このケースをもとに、参加者は次の3つの学習プロセスに主体的に「参加」することになります。



3つのステップを通じて、参加者は、

1. ケースにおいて意思決定を必要とする問題が何であるかを明らかにする
2. その問題に関連する記述・資料を関係づけ、解釈
3. その問題を解決する具体的方策を考え、これを提案
4. その方策に対する問題と周囲の関連状況に適合するものであるかどうかを比較・検討
5. 最終的判断（意思決定）を下す

7

S	M	T	W	T	F	S
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

8

S	M	T	W	T	F	S
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

7/26 (木)	7/27 (金)	7/28 (土)	7/29 (日)	7/30 (月)	
	余田 拓郎 教授 □ 株式会社ウィーヴァ ジャパン	井上 哲浩 教授 □ 日本クリニックラウン 協会「こども時間」 を届ける	小林 喜一郎 教授 □ インドにおけるユニ リーバ: ヒンダスタン・ リーバのプロジェクト・ シャクティ		8:30
	昼 食				12:00
開講式	磯辺 剛彦 教授 □ コマースバンク	小幡 績 准教授 □ (仮題) オリナス 株式会社	浅川 和宏 教授 □ イケア: 過去、現在、 そして未来	講演 芝 陽一郎 氏 「アフリカビジネス入門・・・ 最後のフロンティアの実像、そ してITアントレプレナー」(仮題)	13:30
特別講演 清家 篤 教授 (慶應義塾長) 「自分の頭で考えるということ」				講演 孫 泰蔵 氏 「日本のITベンチャーおよびベンチャー 投資の現状と今後の方向性・・・日本 と世界に新しい時代を拓く」(仮題)	17:20
オリエンテーション 山根 節 教授	個人研究	グループ代表者会議	名刺交換会	個人研究	
夕食会	□ : ケース名 ※ 上記のスケジュールはAクラス用です。Bクラスはグループ/クラスの午前と午後が 入れ替わります。				

特別講演



清家 篤
慶應義塾長

慶應義塾大学商学部教授、慶應義塾塾長。博士(商学)。専攻は労働経済学。1978年、慶應義塾大学経済学部卒業、同大学大学院商学研究科博士課程修了、同大学商学部助教授を経て、1992年より同教授。2007年より商学部長、2009年より慶應義塾塾長。この間ランド研究所研究員、経済企画庁経済研究所客員主任研究官等を歴任。労働政策審議会委員、経済社会構造に関する有識者会議委員などを兼務。近著に『エイジフリー社会を生きる』NTT出版(2006年)、『高齢者就業の経済学』(共著)日本経済新聞社(2004年、2005年の第48回日経・経済図書文化賞受賞)、『労働経済』東洋経済新報社(2002年)などがある。

海外ビジネス・スクール講師



Ramon Casadesus-Masanell 教授
ハーバード大学ビジネススクール 教授

2000年よりハーバードビジネススクールで教鞭をとる。MBAの必修である経営戦略、選択科目であるビジネスモデル競争、更に博士課程で戦略とゲーム理論のクラスを教えており、エグゼクティブプログラムでもクラスを担当している。ノースウェスタン大学ケロッグスクールでPh.D.(博士号)取得、スペインのバルセロナ自治大学経済学部卒業。経営戦略論、経営経済学、産業組織論を専門としており、異なったビジネスモデルを持つ組織間の戦略的な相互関係についての研究である。また、経営戦略における「契約」の限界と「信頼」の限役割についても興味を持つ。カサデス=マサネル教授の査読論文はManagement Science, the Journal of Economics & Management Strategy, the Academy of Management Review, Long Range Planning, the Journal of Law & Economics, the Journal of Economic Theory, the USC Interdisciplinary Law Journal, ABANTE Studies in Business Management, and the Harvard Business Reviewなどで発表されている。

ビジネス・スクール教員



山根 節
セミナー主管
専攻分野
経営戦略、
組織マネジメント、
会計管理



磯辺 剛彦
専攻分野
経営戦略、
グローバルマネジメント



小幡 績
専攻分野
企業金融、
行動ファイナンス、
NPO、
政治経済学



余田 拓郎
専攻分野
マーケティング戦略、
ビジネス・マーケティング、
サービス・マーケティング



井上 哲浩
専攻分野
マーケティング・マネジメント、
マーケティング・サイエンス、
マーケティング・コミュニケー
ション・マネジメント



小林 喜一郎
専攻分野
経営戦略論、
組織戦略論

	7/31 (火)	8/1 (水)	8/2 (木)	8/3 (金)	標準的時間割
8:30	中村 洋 教授 □ エーザイ株式会社	岡田 正大 准教授 □ (仮題) P.T.フマキ ラー・インドネシア	清水 勝彦 教授 □ チャレンジャー打ち 上げ決定のグループプロ セス (A)	講演 Ramon Casadesus- Masanell 教授 「ビジネスモデルによ る競争」	08:30 ~ 09:50 グループ・ディスカッション (ケース1)
12:00	昼 食			終講式	10:10 ~ 12:00 クラス・ディスカッション (ケース1)
13:30	田中 滋 教授 □ マクロ経済と社会 保障制度、同ケースII	Ramon Casadesus- Masanell 教授 □ Tata Nano - The People's Car	Ramon Casadesus- Masanell 教授 □ The Evolution of the Circus Industry (A)		12:00 ~ 13:30 昼食
17:20	個人研究	個人研究	塾長主催 終講パーティー		13:30 ~ 14:50 グループ・ディスカッション (ケース2)
					14:50 ~ 15:10 体操
					15:10 ~ 15:30 コーヒーブレイク
					15:30 ~ 17:20 クラス・ディスカッション (ケース2)
					17:20 ~ 個人研究

※ 開催時に、教材・出講者等変更の可能性があります。

※初日は13：15より開講します。
※17：20以降の時間割では「個人研究」の他、「名刺
交換会」「終講パーティー」などがあります。

特別講師



芝 陽一郎 氏

株式会社i3DESIGN 代表取締役
KeNako株式会社 代表取締役

株式会社i3DESIGN代表取締役、KeNako株式会社代表取締役。職業(アントレプレナー & コンサルタント)『アフリカビジネス入門(東洋経済新報社)』著者。ロータリー財団の奨学生としてドイツBielefeld大学にて社会哲学専攻。野村総合研究所にて金融機関向けのシステムコンサルティング業務に従事。その後、ソフトバンクにて海外ベンチャーキャピタルとの折衝、投資案件のデューデリを担当。当時ソフトバンクグループ会社内の最年少役員。その後上場企業を対象に投資事業ポートフォリオ再編、パイアウトのアドバイザー業務に従事。複数のIT企業の役員歴任。現在、株式会社i3DESIGNにて企業のスマートフォン対応サービス提供する傍ら、KeNako株式会でケニア共和国にてIT-VB投資を実施。アフリカ各地でのPEファンドならびに通信事情に精通。11歳の時にネパールに渡航後、海外渡航国36カ国120都市を超える。1972年2月15日生まれ。



孫 泰蔵 氏

MOVIDA JAPAN株式会社 代表取締役社長

1996年、東京大学在学中にYahoo!Japan立ち上げへの参画をきっかけにインディゴを創業、インターネットベンチャーの草分けとして活躍する。ガンホー・オンライン・エンターテイメントを2002年創業、日本最大級のオンラインゲーム会社へと成長させ、2005年上場。その後も様々なベンチャーの創業や海外の企業との大型J/Vなど、ある時は創業者、ある時は経営陣の一角として、一貫してベンチャーの立ち上げに従事。現在ば2030年までにアジアにシリコンバレーのようなエコシステムをつくる」という志を立て、Startup Accelerator “MOVIDA JAPAN” をスタート。今後は世界中の起業家やスタートアップを支援・育成することで、スタートアップが次の時代を切り拓き、人々のライフスタイルをリードする社会を創っていきたいと考えている。



浅川 和宏

専攻分野
多国籍企業経営、
組織理論、
グローバル・イノベーション論



岡田 正大 セミナー副主管

専攻分野
経営戦略論



清水 勝彦 セミナー副主管

専攻分野
組織マネジメント、
企業変革、
M&A、
戦略実行・変更



中村 洋

専攻分野
経済学、
産業組織論 (ライフサイエ
ンス、ヘルスケア、IT)、
経営戦略論



田中 滋

専攻分野
経営環境、
医療政策、
高齢者ケア政策、
医療経済学、
ヘルスケアマネジメント

*講師は左から右へ出講順

海外ビジネス・スクール招聘教員とテーマ（過去20年分）

年	回	外国人講師名	テーマ	年	回	外国人講師名	テーマ
1992	37	F. Warren McFarlan	21世紀へ向けての経営 —情報技術による経営の革新—	2002	47	Malcolm S. Salter	戦略とガバナンス
1993	38	David J. Collis	企業イノベーションへの挑戦	2003	48	C.K.Prahalad	日本企業のコア・コンピタンス再構築
1994	39	Philip M. Rosenzweig	グローバル経営の新しい挑戦	2004	49	Yves Doz	経営戦略とイノベーション
1995	40	Kash Rangan	マーケティングの革新	2005	50	Mark Davis Jay B. Barney	MIJ (Made In Japan) 再発見 —日本発の知による競争力回復のために—
1996	41	Adam Brandenburger	大競争時代の企業戦略	2006	51	Ashok SOM	日本企業の成長フロンティア
1997	42	Cynthia Montgomery	変化の時代における企業戦略の再構築	2007	52	Stephen P. Bradley	グローバル環境下の成長戦略
1998	43	David Arnold	21世紀へ向けての流通・マーケティング —グローバル・コンペティション、グローバル・ ストラテジー&カスタマイゼーション—	2008	53	Felix Oberholzer-Gee	日本企業の市場戦略の再検討
1999	44	Robert Kennedy	日本経済の再生と規制緩和	2009	54	Sunil Gupta	激動する経営環境下でのビジネスモデル の再検討
2000	45	John Deighton	ネットワーク化された世界でのビジネス	2010	55	Jinho Chang Bodo B. Schlegelmilch	グローバル化時代の戦略とマーケティング
2001	46	William R. Boulton,	経営戦略構築・実行のリーダーシップ— トップマネジメントの課題と挑戦—	2011	56	Dennis Yao	新時代の競争戦略

2011年度高等経営学講座 開催報告



今日わが国は、新たな成長のためのビジネスモデルやマネジメント・スタイルを確立する時期に至っています。こうした背景のなかで、本年の高等経営学講座はテーマとして「新時代の競争戦略」を掲げ、変わりゆく環境において変化を見極めるいわば動体視力を磨きながら、来るべき時代において求められる競争戦略のあり方について、様々な観点から洞察を得ていただくことを、セミナーの目的に据えました。

講師としては、本校講師陣に加え、競争戦略の権威であるハーバード・ビジネススクールのDennis Yao教授、バンダイとナムコ統合の立役者バンダイナムコホールディングスの高須武男取締役会長、慶應義塾塾長の清家篤教

授を迎えました。豊かな経験と見識を持った講師陣のリードのもと、具体的マネジメント課題について、様々な背景をもった参加者間で繰り広げられる、真剣かつ自由闊達な議論が、受講生の皆様の専門的マネジメント能力の醸成に大いに貢献したと確信しております。

当校の社会人向けセミナーの特徴として、講師陣・プログラムの内容の充実、受講生のレベルの高さを挙げることができます。当セミナーは合宿型のセミナーであり、プログラムの中に懇親会や体操等も設けていますので、各業種の一線を担われている受講生同士の異業種間交流にも一役買うことができたと思います。

参加者からの声

- > 中日に講演が入るのは、メリハリあるいは負荷面で適切だった。(輸送用機器、57歳)
- > 大変雰囲気の良いセミナーだった。後輩にも、ぜひ勧めたい。(情報・通信業、53歳)
- > 体操・懇親会も非常に良かった。(体操は、今年から新設。)(輸送用機器、49歳)
- > 内容・質とも、まさに最高レベルの研修であり、感謝しています。(機械、51歳)
- > 聞き及んでいた以上にハードな内容であったが、科目設定はかなり熟慮されたと感じた。(団体、54歳)
- > 塾長の講演から一貫した議論の構成で、各テーマからは想像できない議論となり、大変勉強になりました。(情報・通信業、50歳)
- > 外部講師のDennis Yao教授のファシリテーションが情熱的で、集中することができた。(食料品、50歳)

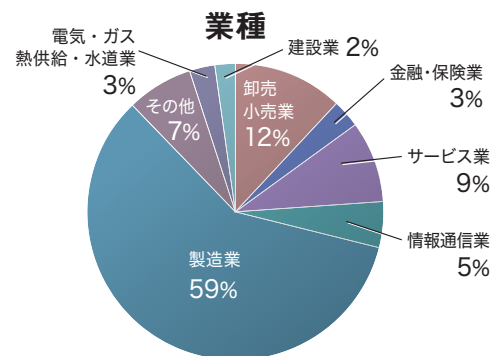
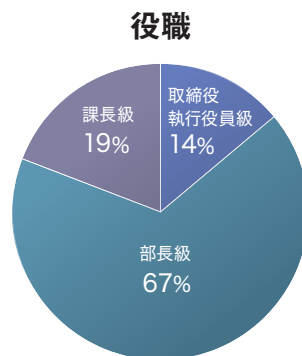
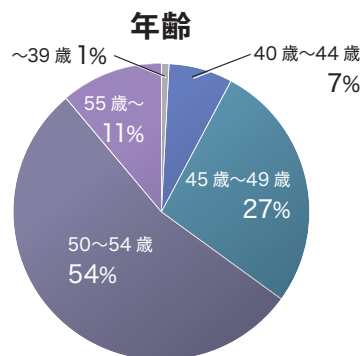


参加企業リスト（過去2年分）

アリスライフサイエンス株式会社	四国電力株式会社	日油株式会社
出光興産株式会社	株式会社ジャフコ	日清製粉株式会社
伊藤忠商事株式会社	新日鉄ソリューションズ株式会社	日清フーズ株式会社
インタートラスト・マネージメント株式会社	スズデン株式会社	日生研株式会社
株式会社エイ・ダブリュ・サービス	株式会社スタッフサービス	日本ゼオン株式会社
株式会社エクセディ	住友金属工業株式会社	日本オルボテック株式会社
株式会社大林組	住友商事株式会社	株式会社野村総合研究所
オムロン関西制御機器株式会社	セイコーホールディングス株式会社	ハウス食品株式会社
オリエンタル酵母工業株式会社	全国農業協同組合連合会（JA全農）	株式会社PFU
KISCO株式会社	大同特殊鋼株式会社	株式会社肥後銀行
キッコーマン株式会社	武田薬品工業株式会社	株式会社ヒメブラ
キッコーマン食品株式会社	田中貴金属工業株式会社	株式会社富士通マーケティング
クオール株式会社	中国電力株式会社	株式会社富士通ラーニングメディア
グラクソ・スミスクライン株式会社	株式会社テクノ・サービス	三菱重工業株式会社
黒崎播磨株式会社	株式会社東芝	三菱電機株式会社
株式会社小松製作所	東芝ITコントロールシステム株式会社	株式会社明治
サノフィ・アベンティス株式会社	東芝テック株式会社	Meiji Seikaファルマ株式会社
サンゴバン株式会社	東洋インキ株式会社	ユニバーサル造船株式会社
JBエンタープライズソリューション株式会社	トーヨーケム株式会社	ロート製薬株式会社

参加者データ（過去2年分）

【参加企業57社 参加人数123名】



2012年度 募集要項

テーマ	「新しい時代へ・・・次の社会、そして経営」
期 間	2012年7月26日(木)～8月3日(金) [8泊9日]
会 場	帝国ホテル大阪 http://www.imperialhotel.co.jp/
募集定員	80名 [2クラス編成]
対 象	企業のトップマネジメントあるいはそれに準じる役職の方
主 管	山根 節
副 主 管	清水 勝彦 岡田 正大
申込締切	2012年6月26日(火)

参 加 費	①受講料 596,000円(税込) ※賛助員(法人)は割引制度有
	②滞在費 [8泊9日] 181,000円(税・サ込) ※宿泊費(朝・昼食付)、インターネット利用料、懇親会費等含まれます。 ※セミナー期間中は必ず会場ホテルにご宿泊いただきます。 予約は当方にて一括で行います。
連 絡 先	慶應義塾大学ビジネス・スクール セミナー担当 〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4-1-1 Tel: 045-564-2440 Fax: 045-562-3502 E-mail: seminar@kbs.keio.ac.jp http://www.kbs.keio.ac.jp/

お知らせ 参加費請求方法の変更について

2012年度セミナーより、①受講料 ②滞在費を合算し、一括して慶應義塾大学ビジネス・スクールより請求いたします。請求書は各セミナー開講約3週間前に派遣担当者様宛に送付します。支払期日は、セミナー開講月の月末となります。

お申込から受講までの流れ

高等経営学講座は定員制ですが、事前に参加人数枠の「仮登録」をすることができます。お手続きの流れは以下の通りとなります。なお、締切日を過ぎてセミナー参加を希望される場合には、セミナー担当までご相談ください。

仮登録



仮登録メールフォーム (<http://www.kbs.keio.ac.jp/executive/info.html>)にてお申込ください。
定員に達した時点で、それ以降の仮登録はキャンセル待ちとなります。

◀ 2012年度エグゼクティブセミナー 仮登録

参加申込開始のご連絡 (メール)

各セミナー、開講約2ヶ月前

派遣担当者様宛に、各セミナーの詳細と参加申込用のメールフォームをご案内します。

参加申込

各セミナー、開講
約2ヶ月前～1ヶ月前

参加申込フォームに必要事項を入力し、申込締切日までにお送りください。

申込受付開始日 2012年5月25日(金) **申込締切日 2012年6月26日(火)**

※仮登録をいただいていない場合でも、定員に達していない場合は参加申込いただけます。
詳しくはセミナー担当までご相談ください。

事前案内・御請求書 到着

各セミナー、開講
約3週間前

派遣担当者様宛に事前案内(受講生用案内状、事前教材等)および参加費御請求書をお送りします。
参加費のお振込みは、各セミナー開催月の月末までとなります。

セミナー開講

【ご注意】

参加申込後のキャンセルにつきましては、セミナーで使用する全教材の実費相当額(1名様分15,000円。教材は後日お送りします)をお支払いいただきます。予めご了承ください。



2012 Celebrating 50 years

KBSは2012年に創立50年を迎えます

慶應義塾大学ビジネス・スクール

〒223-8526 横浜市港北区日吉4-1-1

<http://www.kbs.keio.ac.jp/>

KeioBusinessSchool1962 KBS1962